

令和3年度 事務事業評価シート（1）

[令和2年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	障害者生活訓練事業			事業番号	011-116
担当部署名	健康福祉	局	障害福祉	部	障害施策推進 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(5) 障害者が生きがいを持って心豊かに暮らせる社会の実現
		寄与するKPI	有	取組の方向性	③障害者の社会参加の促進		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	—		
		寄与するKPI	無	現状値	—	目標値	—
2	関連計画	施策との関連	有	ゴール	ゴール(10)人や国の不平等をなくそう	ターゲット	10.2
		寄与するKPI	有	取組	障害者児及びその家族に対する支援		
3	事業開始年度	施策との関連	有・無	指標名	—		
		寄与するKPI	無	現状値	—	目標値	—
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律 (略称・障害者総合支援法)					

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	視覚障害者 (約2,000人)
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	視覚障害者の文化活動や、身だしなみに関する指導等を実施することにより、教養やQOL (生活の質) の向上を図り、社会参加を促進する。
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	視覚障害者を対象とした教養講座 (年間2-3回) を開催。 (平成25年度まで実施していた中途失明者緊急生活訓練は、平成26年度から視覚障害者生活訓練として健康福祉プラザ指定管理業務に統合)
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	特定非営利活動法人 堺障害者団体連合会
10	公民連携・協働事業	

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標 終了(予定)年度
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和3年度
11 修了者数	人	目標値	10	10	10	10
		実績値	4	3		
		達成率	40%	30%		
当該指標を選定した理由		参加申込者のうち、継続して事業を利用し、修了することで社会参加へつなげるため、修了者数を目標としている。				
目標値の設定根拠・算出方法		講座定員 (15名) の6割超				
活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標	
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	
12 講座開催回数	回	目標値	26	26	23	
		実績値	26	23		
		達成率	100%	88%		
当該指標を選定した理由		講座を複数回実施することで、障害者の社会参加促進につながるため、講座開催回数を目標としている。				
目標値の設定根拠・算出方法		講座年間開催上限回数				

令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	障害者生活訓練事業	事業番号	011-116
-------	-----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト		(単位：千円)				
項目	項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
		決算	決算	予算	決算	予算
	事業費 (a)	559	509	567	480	480
13	財源内訳					
	国支出金					
	府支出金					
	市債					
	その他 ()					
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源	559	509	567	480	480
14	人件費 (b)	820	810	820	820	820
15	年間経費(c)=(a)+(b)	1,379	1,319	1,387	1,300	1,300

事業費の内訳		(単位：千円)									
項目	項目	年度		事業費		うち一般財源	年度		事業費		うち一般財源
		R2	決算	R3	予算		R2	決算	R3	予算	
16	事業費内訳	障害者生活訓練委託料	R2	決算	480	480		R2	決算		
			R3	予算	480	480		R3	予算		
			R2	決算				R2	決算		
			R3	予算				R3	予算		
			R2	決算				R2	決算		
			R3	予算				R3	予算		
			R2	決算				R2	決算		
			R3	予算				R3	予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費					
区分	区分	単位	令和元年度	令和2年度	
17	①	修了者数	人	4	3
	②	上記①にかかる年間経費	千円	1,319	1,300
	③	単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	329,750	433,333
備考 (算出についての説明等)					

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見	
18	<p>令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響で講座の開催を一部中止としたため、修了者数が微減することになってしまったが、一定障害者の社会参加へつなげることができた。</p> <p>令和4年度より、障害福祉の拠点施設である健康福祉プラザ（視覚・聴覚障害者センター（点字図書館））指定管理業務へ移管することで、健康福祉プラザの持つ障害者支援にかかるノウハウを生かし、事業を行う。</p>
KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）	
19	<p>視覚障害者にとって当該事業は教養やQOLの向上を図るという当初の目的もあるほか、視覚障害者の当事者同士が1つの場所に集まり情報を共有する場にもなっており、貴重な社会参加の機会となり、堺市基本計画2025及びSDGs未来都市計画に掲げる取組の方向性に対して寄与した。</p> <p>また、令和4年度以降、健康福祉プラザ指定管理業務へ移管することにより、現在すでに健康福祉プラザにおいて行っている、視覚障害者を対象としたパソコンや白杖の訓練受講者に対し、教養やQOLの向上をはかる当該事業の訓練・講座に参加を促すことで受講者増につなげることができる。</p>